



埼玉県杉戸町議会
平成28年5月1日発行



こんにちは 杉戸議会です

2016(平成28年)
3月議会

住みごこち100%のまちづくりは
平成28年度一般会計予算…………… P2~P5
特別・企業会計予算…………… P6
条例改正・補正予算等…………… P8
町政を問う(一般質問に11人登壇)…………… P10
意見書2件(子育て・脳しんとう予防)…………… P19

100%のまちづくりは

平成28年第1回定例会は、2月16日から3月16日までの30日間、行いました。
平成28年度一般会計予算をはじめ、国民健康保険等、特別・企業会計予算ほか、意見書2件、条例など37議案が審議され、すべて可決しました。

注目事業



すぎと幼稚園・すぎと保育園 開園

2,864万円



日光街道杉戸宿開宿400年

2,789万円



高野台小学校に太陽光発電

2,198万円



橋の耐震補強・橋りょう点検

1億5,400万円

平成28年度一般会計予算 125億3千8百万円

住みごこち



そろいのジャンパーで町と議会は杉戸宿開宿 400 年をアピール

自民クラブ

都築能男

問 杉戸宿開宿 400 年事業で、どのようなおもてなしするのか。また東武動物公園駅東口通り線整備は、どの程度進むのか。保育環境を整えること、待機児童ゼロになるのか。

答 観光案内所を開所し、杉戸宿案内人にも協力いただき、憩いの場としておもてなしを実行していきたいと考えます。また駅前通り線は、計画の素案を作成し、さらなる一歩を踏み出します。待機児童については、すぎと保育園の開園や民間認可保育施設の整備を進めることで抑制を図り、新たな保育ニーズにも対応していきます。

日本共産党

阿部啓子

問 今年度で県内 8 割の学校普通教室にエアコンが設置される。町の後期計画にはエアコン設置が掲げられていたが、予算にはない。どう検討されたのか。また、西幼稚園・中央幼稚園保育棟の建替え計画の具体化は。

答 エアコンの設置は、平成 28 年度、中学校図書室、その後、小学校図書室、音楽室、普通教室の順に設置を考えています。幼稚園の建替えは、財政の状況、園児の推移、西飯グラウンド用地の活用も含めて検討していく。

公明党

伊藤美佐子

問 若い世代の結婚・妊娠・出産子育ての希望をかなえるため、現状と課題をふまえた取り組みを実施する内容は。

答 きめ細やかな支援体制を関係機関と連携しながら五つの施策を展開して行きます。

- 1、多様な保育サービスの実現。
- 2、安心して子どもを産み育てることができるよう各種事業を図り、包括的に子育て支援。
- 3、学校教育の充実で時代の変化に対応した教育内容の充実。
- 4、主体的に学ぶ生涯学習の充実。
- 5、男女が共に生きる環境づくり。

自由民主党

宮田利雄

問 義務的経費・重要施策など外せない経費が多くある中、平成 27 年度と比べ、スクラップ&ビルドした事業や増減があった事業はなにか。

答 平成 27 年度当初と比べ大きな増は国保繰出金 9 億 4 千万円。保育園教務が 2 億 1 億 8 千万円。民間保育所へ補助金を計上、環境センター周辺事業、橋りょう維持管理などです。一方大きく減は統合幼稚園、保育園前年度比 10 億 4 千万円、5 億 4 千万円、7 千万円です。

総括質疑

平成28年度

どうなる？ 各施策は

平成28年度の一般会計予算は、2月29日、3月1日、2日、4日の4日間行い予算特別委員会（議長除く14人の議員）で審査しました。

主な質疑

歳入

固定資産税の増加

問 固定資産税の償却資産の課税標準額が前年度比で10・7%と著しい増加の理由は。

答 増加の主な内容は、倉庫事務所、倉庫の新築・改築等に伴う償却資産の増加、リース資産の増加を含む設備投資や太陽光発電施設の立地の影響も見込んでいます。

幸手市のごみ負担金の増加は

問 可燃ごみ受け入れにかかる受託費負担金が644万9千円増となっているが、その理由と内容は。



環境センター

答 共同処理に要する経費（需要費、手数料、委託料、工事請負費）5億1763万6千円でこれを平成27年度上半期の可燃ごみの処理の割合幸手市53・8%、杉戸町46・2%により案分して負担金を算定しています。増えた理由は、工事請負費の増によるものです。

歳出

小中学校のエアコン設置は

問 本年度の図書室へのエアコン設置についてと今後のエアコン設置のスケジュールは。

答 学校施設はトイレを始め校舎全体が老朽化し、改修に多額な予算が必要なことから重要性・緊急性さらに使用頻度などさまざまな条件を判断し、中学校の図書室へのエアコン設置をまず先に行うことになりました。

設置のスケジュールは平成28年度に中学校図書室、29年度は小学校図書室、その後、音楽室、普通教室へと順次設置を考えています。

○賛成11・反対3で可決

公共施設予約システム 始まる

問 公共施設予約システムの稼働までのスケジュールと住民・利用団体等への周知は。

答 5月末にはシステムができればと考えています。6月には窓口対応等の職員および委託先の職員に研修を行います。7月1日から稼働します。5月または6月の広報紙・ホームページ等で周知を図ります。利用団体等への周知は施設ごとに進めています。

電力自由化で 今後の契約先は

答 平成26年4月から役場庁舎のほか高圧供給の施設は、東京電力（株）から伊藤忠エネクス（株）に、供給契約を変更し継続しています。

低圧供給の施設は平成28年4月から自由化になりますが、今のところ東京電力（株）と引き続き契約することになります。今後は各施設の現在の電気使用時間と使用料などの状況を確認し、東京電力（株）以外の業者の供給が有利か、契約の方法を含め検討します。



4月から電力自由化



すぎたろう



問 観光振興事業について、今回世界キャラクターさみつと「すぎたろう」が一緒に参加するが、「すぎたろう」の位置づけは。

世界キャラクターさみつと「すぎたろう」が参加

答 世界キャラクターさみつと参加負担金2万円は会場費になります。これに「すぎたろう」が加わって参加することについては問題ないと考えています。

またキャラクターの人氣投票については票が割れることも危惧されますが、すぎぴよんと「すぎたろう」を1つのエントリーに登録が可能ですので一緒に票を入れていただく形になると考えています。

今後はすぎぴよんと「すぎたろう」で、杉戸宿開宿400年を初め杉戸町を盛り上げていきたいと考えています。

2 「ねたきり老人手」の廃止で予算に占める高齢者福祉の扶助費はたったの1万円にするなど高齢者福祉の後退していること。

3 子育て家庭への経済的負担を減らすための思い切った支援策が講じられていないこと。

反対 日本共産党 石川敏子

町民の暮らしが脅かされている中、町民の暮らしを守る事が最優先された予算となっていないことが問題です。

1 公共下水道の値上げや軽自動車税の増税など負担を増やしていること。

答 国の27年度保育所等整備交付金要綱に

問 民間保育所施設整備費補助金1億9244万円の根拠は。

民間保育所整備に助成

基づき積算しました。要綱では、施設の定員数などで交付基準額が決まっています。実際の施設整備に要した費用が基準額を超過した場合でも規定された基準額を限度に補助金が交付されます。基

賛成 自民クラブ 濱田章一

厳しい財政状況の中、財政の健全性に配慮しつつ、少子高齢化のみならず、急速に進む人口減少社会を十分意識し、将来を見据えながら魅力あるまちづくりの創出と確かな安心をめざし、特に、「地域創生」、「子育て」、「健康」、「安心・安全」、「環境」の5つを中心に、各施策にバランスよく財源を配分した。確かな安心を実感できる積極的な予算である。

賛成 公明党 平川忠良

平成28年度予算は、前年度より22%減額となる中、「地域創生」事業では、杉戸宿開宿400年イベントやグルメ開発の実施。「子育て」事業では、すぎと幼稚園・すぎと保育園開園や民間の認可保育園の誘致、ブックスタート事業。「環境」事業では、高野台小学校への太陽光発電設備整備などの施策に取り組んだことを高く評価します。

賛成 自由民主党 宮田利雄

東日本大震災から早5年、国は復興に向け取り組んでいますが、その効果は依然として厳しい状況下にあります。このような中、平成28年度予算125億3800万円、前年と比べ22%マイナス2億8600万円であり、今迄以上に厳しい財政状況の中、行財政改革に取り組み一方、町民が安心して暮らせる町にするため、町政伸展につながる施策に取り組んだ予算であると評価します。



準額に対する国・町・事業者の負担については事業者負担分を町が助成し割合は国2/3、町が1/3になります。

特別・企業会計予算

総額 122億5698万円 3.1%増

特別・企業会計予算

区分		平成27年度	平成28年度	増減率
特別会計	国民健康保険	63億515万円	64億1000万円	1.7%
	後期高齢者	4億780万円	4億3812万円	7.4%
	介護保険	27億1961万円	29億1556万円	7.2%
	公共下水道	9億9825万円	9億1135万円	▲8.7%
企業会計	水道事業	14億6042万円	15億8195万円	8.3%
計		118億9123万円	122億5698万円	3.1%

国民健康保険

○賛成11・反対3で可決

予算編成時の医療分加入者は、7808世帯、1万3809人で、1世帯当たりの税額は9万9651円、1人当たりでは5万6345円を見込んでいます。「保険基金安定繰入金を活用しての国保税の引き下げを」との反対討論がありました。

主な質疑

問 申請減免の実績と減免基準は。

答 平成27年2月1日現在での申請減免はありません。

生活実態がそれぞれあることから基準を明文化することは難しいです。

問 特定健康診査を地区センターで実施した検証は。

答 27年度は日曜日、月曜日の2日間実施しましたが定員に達しなかったため、28年度は1日だけで実施します。



地区センター(リハビリホール杉戸)

主な質疑

問 特定検診を無料で行っている自治体は。

答 県内63自治体で29市町村が無料となっています。

問 出産一時金の増額の検討は。

答 近隣市町の実況を把握し、総合的に勘案しながら検討します。

後期高齢者医療

○賛成11・反対3で可決

埼玉県後期高齢者医療広域連合が実施している後期高齢者医療保険は2年ごとに見直しされ、平成28・29年度の保険料が決まりました。「本年度から、特別対策を本則に戻すと保険料負担が増大する」との反対討論がありました。

主な質疑

問 保険料の総額が昨年より増えている理由は。

答 予算編成時に、保険料率がまだ定まっていなかったためです。見込みでは、平均被保険者数が308人増加するため増額となりました。

問 保険基金安定繰入金を増額内容は。

答 被保険者の増加に伴い、軽減措置の対象者も増加したことに伴うものです。

問 保険料の軽減税率制度の拡充についての内容は。

答 新たに拡充された内容は、基準所得金額均等割5割軽減の対象者の所得を26万円から26万5千円に、均等割2

平成26・27年度の保険料率	
均等割額	42,440円
所得割率	8.29%

平成28・29年度の保険料率	
均等割額	42,070円
所得割率	8.34%

介護保険

○賛成11・反対3で可決

介護保険料は、賦課人数の増加により前年度比3.8%の増となります。一方、保険給付費については事業計画に基づいた編成により9.7%の増を見込んでいます。「介護給付に見合った運営を行うべき」との反対討論がありました。

主な質疑

問 介護保険の一次予防事業に、げんきSUGI体操に必要な消耗品費の購入がありますがその内容は。

答 この体操は、おもりのついたバンドが必要となりますので、200人分のバンドセット購入をはかるものです。

問 一般会計から介護保険に移った事業は。

答 一般会計からねたきり老人手当を廃止し、介護保険の紙おむつ支給事業においてゴミ袋の支給を年5回から12回に増やしました。



げんきSUGI体操

公共下水道事業

○賛成11・反対3で可決

下水道使用料の改定後の予算は、前年比8.7%減を見込んでいます。主な事業として、下水道区域拡大のため、下高野地内の面整備を実施します。

主な質疑

問 一世帯当たりの使用料は、前年度当初予算と比較してどのくらいになるのか。

答 一世帯当たり2417円の増になります。

反対 日本共産党
森山哲夫

今回の予算案は、使用料金を平均で13・78%値上げしたことによって、料金収入全体では前年度比で2944万円、10・2%の増となっています。26年度の消費税増税によって、町民には上下水道合わせて2657万円もの負担増が押しつけられたばかりですが、今回の値上げは、消費税の増税等で冷え込んでいる町民の家計にさらなる追い打ちをかけるものです。

水道事業

○賛成11・反対3で可決

主な事業として、屏風深輪産業団地造成に伴う配水管布設工事と、老朽化した第3配水場の配水管等の更新工事を実施します。

主な質疑

問 高すぎる加入金を引き下げることについては、検討しなかったのか。

答 財政状況を踏まえながら検討していきます。

反対 日本共産党
森山哲夫

杉戸町の加入金は口径20ミリでは県内5番目に高く、春日部市の1.6倍にもなっています。28年度末の利益剰余合計金額は4億9千万円以上にも達する予定であり、こうした高すぎる加入金については引き下げをはかるべきです。生活困窮者に対する料金の減免措置が設けられていないことも問題です。

水道事業

○賛成11・反対3で可決

加入金の内訳は。

問

答 新規の口径13ミリが9件、20ミリが154件、25ミリが2件です。13ミリから20ミリへの変更工事として46件を見込んでいます。

賛成 自民クラブ
都築能男

収益的収支は予算損益計算書上、黒字予算の編成となっていますが、資本的収支においては、収入に対し支出が大幅に上回っており、より一層の経費削減が必要です。節水志向の高まりに伴い、水道供給量が減少傾向にある中で、安全安心な水の供給、いつでも使える水道、未来につづく事業運営、財政基盤を強化し、水の安定供給を図ることを希望します。

すぎと幼稚園 すぎと保育園 4月開園

すぎと幼稚園・すぎと保育園は、保育園が4月1日から、幼稚園が4月8日から子どもたちが通い始めました。

備品の購入

○全員賛成で可決
すぎと保育園備品ベット・乳母車など583万円で取得しました。



第1回入園式で



主な質疑

問 予定価格と落札価格に開きがあるが、子ども用備品に対する安全性の確保は。

答 入札対象額に対する落札率は65・3%です。備品は基準にのった製品であり、安全性の確保はなされています。

災害見舞金支給に条例制定

主な質疑

問 今回の災害見舞金等条例の内容は。

答 住宅の全焼・全壊 10万円
半焼・半壊 5万円
床上浸水等 2万円
死亡者 10万円
重傷者 3万円
の見舞金を支給することとしました。

○全員賛成で可決

問 平成24年3月議会
で災害見舞金制度を復活させるよう取り上げたが、その時点では考えていないということだった。これまでの経緯は。

答 きっかけになったのは、平成25年9月に発生した越谷、松伏地域における竜巻災害です。

ねたきり老人手当を廃止

主な質疑

問 昭和48年から開始された、ねたきり老人手当の経緯は。

答 当初は非課税世帯のみを支給対象、平成10年度から課税世帯を対象に加え、現在の支給については、非課税世帯は、月額1万円、課税世帯は月額3千円となっております。

○賛成11反対3で可決
います。

問 条例廃止となっても十分な対応は図れるのか。

答 介護保険の紙おむつ支給事業で対応します。今後については地域包括ケアシステムの中でも対応を検討していきます。

この災害を機に埼玉県では、県と全市町村の共同で埼玉県市町村被災者安全支援制度を26年4月から創設しました。町でも平成26年度の半ばから災害見舞金制度制定の準備を開始し、平成27年度の関東・東北豪雨災害で必要



地震により倒壊した塀（町内）

反対 日本共産党 石川敏子

「老老介護」「介護の果ての無理心中」など重度の要介護高齢者を取り巻く状況を考えれば、ねたきり老人手当を廃止することは到底認められません。

こうした高齢者に福祉予算を使ってきた方針を撤回し、保険料を徴収する介護保険での対応は問題です。

賛成 無所属 須田恒男

ねたきり老人手当は昭和48年1月に支給が開始され、43年が経過しています。平成12年度は介護保険制度が制定、近隣自治体ではこの時期に廃止されています。

家族への支援事業「紙おむつを排出するゴミ袋」の支給で対応していきます。

10月実施

杉戸宿開宿400年 記念イベントに2000万円

平成27年度 一般会計補正予算

○全員賛成で可決

補正額2億1201万7千円を追加し一般会計の総額は122億7658万6千円となりました。

主な質疑

開宿400年記念事業

問 事業費2761万6千円のうち2000万円の委託料の内容は。

答 開催事業費で、今後、委託業者を決定します。

問 トイレの設置は。

答 できるだけ街道沿いに設置する方向で検討します。

問 商店街に賑わいを取り戻せるか。

答 ログの活用、食資源を開発などで商業の活性化という目標につなげます。

多子世帯の

保育料の引き下げは

答 保育園保育料の引き下げは、26名です。最大で年額62万6700円を返還します。

年金生活者等支援臨時福祉給付金の支給は。

答 給付対象は、前年度28年度に65歳以上となる4200人を見込んでいます。給付は3万円で、6月末までの給付を基本とし、9月には終了を予定。給付申請等の場所は、選挙と重なるため福祉課の相談室になります。

1月から
マイナンバー制度導入

問 ここにきてセキュリティの強化1740万円を行う意味は。

答 日本年金機構における個人情報情報の流失案を踏まえて、情報の持ち出しを不可とする設定、接統の分割など強化する指示がありました。関連事業費は、7477万5千円となり、町持ち出し分は1603万9千円です。

公共施設改修基金に
1億円の積み立ては。

答 積み立てなければ実質収支は5億円以上になると見込み、基金に積み立てる予算としました。



人事

人権擁護委員

長谷川 美代子氏 (再任)

固定資産評価審査委員会委員

伊坂 清氏 (再任)

副町長の選任に同意

坂田 直人氏 (新任)



平成27年度 介護保険補正予算

○全員賛成で可決

補正額1478万9千円を追加し、総額は29億2403万4千円となりました。

主な質疑

問 予算では対前年度9%の伸びを見込んでいるが、給付の状況は。

答 3月から10月の給付実績は3.6%の伸びです。給付増とした理由は、一番高い支出で3月までの分を見込んで増額しました。

問 基金の額は。

答 補正後の基金額は2億7426万6682円となります。

町政を問う

3月定例会の一般質問は、2月22日、23日、24日に11人の議員が登壇し、観光、安心・安全のまちづくり、福祉、学校・社会教育、子育て、土木などについて、町の考えをただしました。

質問項目は下記のとおりですが、その一部の質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

なお、他の質問内容を知りたい場合には、町議会ホームページの「会議録の検索と閲覧」をご利用ください。3月定例会の会議録は、6月上旬に掲載予定です。



○森山哲夫議員

1. 「子どもの貧困」対策
2. 非婚ひとり親家庭への寡婦（夫）控除のみなし適用に

○仁部前崇議員

1. 公共施設の老朽化対策は
2. 第1回杉戸宿宿場まつりの催行結果は

○伊藤美佐子議員

1. 認知症対策は進んだのか
2. 差別のない住みやすいまちづくり

○平川忠良議員

1. AEDのさらなる普及は
2. デマンド交通運行の検討は
3. 新春マラソン大会の評価は

○須田恒男議員

1. 町外への情報発信は
2. 社会体育施設の充実を図れ
3. 公用車の管理体制

○石川敏子議員

1. ごみ減量化の取り組みは
2. 放課後児童クラブの充実を
3. 統合幼稚園の開園にあたって

○宮田利雄議員

1. 町内の道路管理は
2. 根用水路管理と今後の計画は
3. 町のPRは

○窪田裕之議員

1. 選挙の投票率向上策
2. 小・中学校での教育方針
3. 小・中学校での指導体制

○大橋芳久議員

1. シティプロモーションの促進を
2. 今後の公共交通システムの見通しは
3. 行政区制度の改革は

○阿部啓子議員

1. 巡回バスとデマンド交通双方の導入を
2. 幸せな老後に向けた介護保険に

○都築能男議員

1. 「みんなで作るまちづくり支援制度」と「花いっぱいのもちづくり」
2. 「杉戸宿」開宿400年



▲ 深刻化する施設の老朽化（泉公民館）

問 公共施設改築・改修基本方針（①）と公共施設等総合管理計画（②）の違いは。

答 財産管理課長 ①は概ね100㎡以上の建築物を対象に、施設の適切な整備・保全を図る基本方針と、整備の考え方や方向性を示したものです。②は国のインフラ長寿命



仁部前崇議員

化基本計画に基づき平成26年4月に策定が要請されたものです。対象施設は、インフラ施設も含め、計画期間も10年以上の長期にわたり、その実効性を確保するために、施設等の集約・縮減・財政負担の軽減・平準化に関する数値目標などを可能な限り設定するものです。

問 杉戸宿について 第1回宿場まつりの催行結果と課題は。

答 商工観光課長 1万2千人の来場者があり、プレイベントとしては一定の評価ができます。第2回では、実施区間も長くなるので各方面に協力を要請します。

問 開宿400年を祝う

答 町長 町の名産品をつくることは大切であり、町としても必要であると考えています。今後、提案を進めるように検討していきます。

平成29年3月を予定

「公共施設等総合管理計画」の公表は

貧困の連鎖を断つ、思い切った手立てを

町の財政や近隣市町の動向をみて対応

問 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」では、国及び地方公共団体に対して「教育の支援や経済的支援等を講ずるものとす」と定めているが、杉戸町としては、①就学援助の拡充、②学校給食の無料化、③保育園保育料の引き下げ、④18歳までの医療費無料化、

答 学校教育課長 就学

援助の拡充については、町の財政状況や近隣市町の動向を注視していきたくと考えています。

答 教育次長 学校給食の無料化は、町財政への影響等を考慮すると難しいものと考えています。奨学金については、現行の入学準備金貸付制度で対応していきます。

問 一つの前進もなく、子どもの貧困が解消に向かうと考えているのか。

答 教育次長 現時点では現行制度を続けていきたいと考えています。



森山哲夫議員

▼ 子どもたちに希望ある未来を



認知症対策は進んだのか

認知症地域支援推進員を中心に進めます

問 認知症対策はどのように進んだのか。

に対応します。

答 高齢介護課主幹

1 「認知症安心ガイドブック」を作成しました。冊子は窓口のほか、HPにも掲載しています。

2 認知症の人やその家族の支援は、認知症地域支援推進員2名を中心

3 地域で見守る体制を図るため、更に「認知症サポーター養成講座」の実施を拡大します。

4 「認知症カフェ」の開設準備を進めています。すぎとピアや公民館などで試行的に開設し、後に定例開催できるように工夫します。

問 「認知症徘徊模擬訓練」を実施する考えは。

答 高齢介護課主幹

自治会やシニアサロンなどと調整し、今後検討します。

問 認知症の早期発見、早期支援のため、HPにチェックリストを掲載する考えは。

答 高齢介護課主幹

信



伊藤美佐子議員

頼できる業者等の情報や費用面を含め検討します。

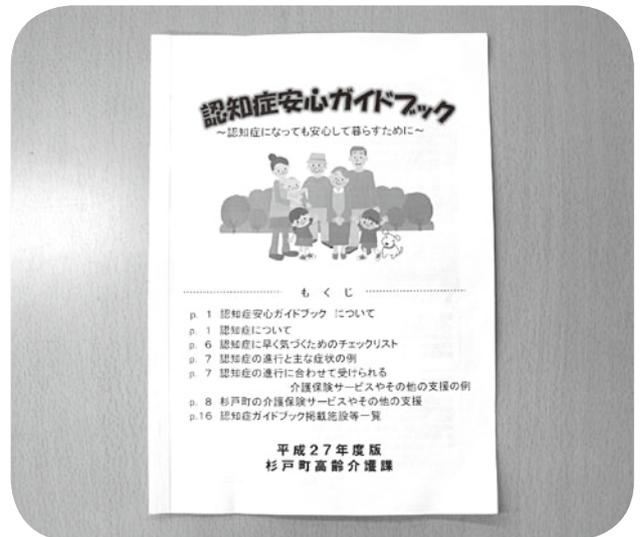
差別のないまちづくり

問 社会福祉協議会では、障害者差別解消法の施行に伴い、代読・代筆を行う情報支援員の養成講座を検討しているが代表責任者である町長の考えは。

答 町長

講習会の開催に向けて努力します。

▼ 認知症になっても安心して暮らせる体制を



▲ 平成29年4月以降は？



平川忠良議員

問 現在の巡回バスの問題点は。

答 住民参加推進課長

2 コース運行していますが、一周1時間50分もかかること、各コース4便なので、行きの便はあっても帰りの便がないなどです。

問 平成29年3月で巡回バスの契約が満了となる

が、その後の町の方向性は。

答 住民参加推進課長

2ヶ年にわたり実施した利用者・住民アンケート調査の結果を踏まえ、運行コースおよび便数等の改善を図る方向で検討を進め、巡回バスの運行を継続したいと考えています。

巡回バスに変わるデマンド交通運行の検討は

巡回バスのコース・便数を改善し、継続します

問 運行を継続する理由と改善内容は。

答 住民参加推進課長

アンケートでは、多くの住民が継続を望んでいます。運行コースの再編、増便、ワゴン車タイプのバス利用、乗換券や一日券などを検討しています。

問 デマンド交通のメリット、デメリットは。

答 住民参加推進課長

メリットは、自宅前から目的地まで乗りたい時に乗れることです。デメリットは、事前予約の必要や定員があることです。また、維持管理コストの増大や、路線バスおよびタクシー事業者の営業の妨げにならないかということです。

町外への情報発信の強化をはかれ

一番効果的な発信策を研究します

問 町外への情報発信は、
答 秘書広報課長 主に記者発表と町ホームページを活用しています。平成27年度の記者発表は、1月末現在76件、うちメディアに延べ107件取り上げられました。産業界に進出する企業向けの助成制度創設などが新聞掲載されました。

問 地域活性化、定住促進策の発信は。
答 秘書広報課長 杉戸宿ブランドを活用した他地域との差別化、またアグリパークとのコラボを進め、関係機関と連携を図り、全国に効率的にPRしていきます。

問 秘書広報課長 2月20日に、すぎと幼稚園・すぎと保育園の記事は「待機児童ゼロ」への見出しで新聞掲載され、効果があつたと考えています。
問 雇用の確保に向けた企業誘致策の発信は。
答 秘書広報課長 企業立地セミナー、彩の国ビジネスアリーナのイベン

トに、町作成のパンフレット及びリーフレットを配布しPRしています。
問 民間事業者の協力を仰いで企業誘致策の宣伝活動を図る考えは。
答 秘書広報課長 物流会社等の車へのラッピング、大型ビジョンへの投影、壁面広告等効果を見極め研究していきます。



須田恒男議員

にぎわいいっぱい・すぎとマップ



▲ 狭い南放課後児童クラブ

問 平成28年度から拡大される放課後児童クラブはあるのか。
答 子育て支援課長 施設の新設や増築等を行う予定はありません。しかし入所希望が増加傾向にあり、特に西・南放課後児童クラブは児童一人当たりの面積が少ないため、余裕教室の活用も図りな



石川敏子議員

から整備を進めていく必要があると考えています。
問 西は定員オーバーのため、クラスを2つに分け、余裕教室に1クラスを移すという考えは。
答 子育て支援課長 余裕教室の活用については調整した経緯もあります。整備をするための財源確保に努めていきます。

ぎゅうぎゅう詰めの解消を

低学年を優先した入所も考えます

問 南の余裕教室は、放課後子ども教室等で使用されています。児童クラブとしても活用する考えは。
答 子育て支援課長 教育委員会に所管が移ることから、今までよりスムーズに調整できると考えています。

問 長期休業中、西は児童がぎゅうぎゅう詰めの状態です。いつまで放置するのか。
答 子育て支援課長 長期休業中に登室する児童の予定等を十分に把握し、調整したいと考えています。難しい場合は、低学年を優先させた入所も考えていきます。

県道における歩道整備は

県に強く働きかけていきます

問 歩道のない県道に歩道整備を行うよう県と話し合いを行っていると思うが、状況は。

答 都市施設整備課長

町村会等を通じて県に対し毎年要望しています。また通学路においては県が中心となつて総点検が実施されており、その箇所について県へ整備を要望しています。

問 これまでの要望の結果と今後は。

答 都市施設整備課長

県に要望した次木杉戸線、境杉戸線、西宝珠花屏風線の一部の区間について歩道が整備されました。今後も地域住民や関係各課と連携し、県に要望していきます。

は。

答 都市施設整備課長

広域農道は土地改良法に基づき町が管理をしています。そのため歩道整備は町で実施しなければなりません。築道陸橋等の多額な予算が必要となる事業施策があるため、現段階での整備は考えていません。

なっている個所を優先的に要望しては。

答 都市施設整備課長

今後とも、歩道のない県道については、県に強く働きかけていきたいと考えています。



宮田利雄議員

▼ 狭く歩道のない県道



小・中学校のさらなる学力向上は

授業改善を実施していきます



窪田裕之議員

問 全国学力・学習状況調査によると杉戸町の学力は県内平均だが、さらなる学力の向上という目標設定はしているのか。

答 学校教育課長

調査は児童生徒一人一人の学力の伸びを把握するためのものと考えているため、確かな学力を身につけさせ、伸ばしていく

ことを目標設定としていきます。調査結果から課題を見だし、授業改善を実施していきます。

問 学力別クラス編成を行えば教師も授業を行い易く、生徒の理解も深まるのでは。

答 学校教育課長

授業は個人で行うものばかりではなく、生徒同士で

話し合つて学んでいく学習も有効とされています。そのため習熟度別で学習したり、多様な考えや力を持った児童生徒で学習したりするなど、学習形態の工夫で対応していきます。

問 より少人数での授業を行うことは制度上できないか。

答 学校教育課長

小学

校では算数の授業を、中学校では学校により異なりますが英語と数学の授業を少人数で行っています。教員の加配数に限り度があり今以上の少人数授業は厳しい状況ですが、今後とも工夫を行い、児童生徒の学力向上に努めていきます。

小学



▲ 未来の杉戸町を背負って・・・期待しています！



▲ 買い物などに便利なレンタルシニアカー

デマンド交通の導入は

場合によっては導入する必要がある

問 町は今後の公共交通の在り方についてアンケートを行ったが、今後もっと詳しく調べていく考えはないか。

答 住民参加推進課長 今回のアンケートで十分な情報は得ているものと認識しています。

問 アンケートの年代別や地域別などの集計、分析は行ったのか。

答 住民参加推進課長 現時点では行っていません。

問 アンケート結果によると、住民はデマンド交通に関心があるようだが、今後どのように調査していくのか。

答 住民参加推進課長 住民の意向を踏まえて対応してまいります。

応じていきます。

問 巡回バスはバス停から遠い人にとっては不公平ではないか。

答 住民参加推進課長 その通りだが、町内全域をある程度網羅し、人口密集地域を主体とした路線となつていきます。

問 費用と地域交通機関へ与える影響がデマンド

導入のネックだとしているが、費用の許容範囲は。

答 住民参加推進課長 幸手市と同等程度であれば適切であると考えています。



阿部啓子議員

問 巡回バスは、住民の声に添えて、便数等を拡充する必要があります。

答 住民参加推進課長 それとともに停留所まで歩いていくことが困難になった高齢者の交通手段としてドアツードアのデマンドバスも求められている。双方を実施する考えは。

問 巡回バスの改善は評価するが、この先何年も、



大橋芳久議員

導入のネックだとしているが、費用の許容範囲は。

答 住民参加推進課長 幸手市と同等程度であれば適切であると考えています。

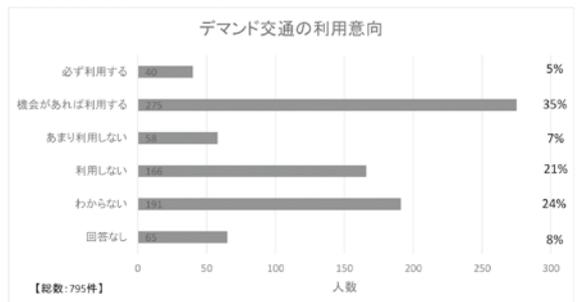
問 課題が解決すれば、デマンドを導入しようと考えているのか。

答 住民参加推進課長 場合によっては導入する必要があると考えます。

必要があると考えます。

▼ デマンドには必要がある

問13. もし、現在利用している町内巡回バスに替わって、デマンド交通が導入された場合、あなたは利用しますか？（1つだけ）



「町内巡回バスの今後の在り方等に関するアンケート調査結果」より

巡回バスの改善と歩行困難者へのデマンド交通、双方実施を

改善を図り、歩行困難者は高齢者施策で検討

巡回バスは、その運行コース及び便数等について改善を図るよう検討を進めます。デマンド交通については、当町には定時定路線で運行する巡回バスが適しています。併用運行は経費の問題もあり困難です。

問 巡回バスの改善は評価するが、この先何年も、

答 高齡介護課主幹 平成29年から新しい総合事

歩行困難者に対する交通機関の整備ができないようでは無理がある。デマンドでも乗り合いタクシー、タクシー利用補助券を発行するなど取り入れやすい方法もある。また電動のシニアカーを貸し出すという方法もあるが。

問 巡回バスは、今後高齢者や障がい者等に配慮した運行を予定しています。

答 住民参加推進課長 巡回バスは、今後も高齢者や障がい者等に配慮した運行を予定しています。

問 巡回バスの改善は評価するが、この先何年も、

答 高齡介護課主幹 平成29年から新しい総合事

10/30の杉戸宿開宿400年イベントの工夫は

スタンプラリーや杉戸宿案内でピーアール



都築能男議員

問 日光街道埼玉6宿スタンプラリーの内容は。

答 商工観光課長 9月から12月にかけて、草加市、越谷市、春日部市、幸手市、久喜市を繋ぐスタンプラリーを実施予定です。9月に浅草駅でPRイベントを行います。

ようにリンクするののか。

答 商工観光課長 案内人は、杉戸宿めぐりでは、平成27年度600人以上のガイドを行い、町をPRしていただきました。

問 開宿400年事業と「杉戸宿案内人」はどの

「みんなでつくるまちづくり支援制度」と「花いっぱい運動助成事業」

問 それぞれの違いは。

答 住民参加推進課長 支援制度は対象となる事業、経費が多岐に渡っています。助成事業は植栽に要する苗木、苗及び種子の購入費に限定されます。限度額は、支援制度が10万円、助成事業は、杉戸町コミュニティづくり推進協議会員が3万円、

その他住民団体は2万円です。

問 支援金審査委員会の委員と関係のある団体から支援制度の申請を受けた時の対応は。

答 住民参加推進課長 その団体の審査時は、関係する委員は委員会から退席し、公平性・透明性を厳守しています。

▼ 1人ひとりが、皆で、町全体で、杉戸宿開宿400年の行事を楽しもう



視察

議会における タブレット端末の導入について

議会運営委員会

埼玉県
飯能市
1月12日

委員会としての意見

① コスト削減や環境面から見てもタブレット端末の導入効果は大きいものと考えるが、導入した際の効果等を検証することからも、引き続き、導入に向けた調査・研究や先進自治体の視察を継続していくものとする。

② 財政的效果等を踏まえると、議会側だけではそ

の効果は低いいため、議会関係全般（本会議・委員会・全員協議会など）に加え、執行部側の議会対応全般を考慮し、重ねて検証すること。

③ タブレット端末の導入により経費節減やペーパーレス化の目的を達成するには、執行部との協力は必要不可欠であるため、執行部側との意思疎通や意見調整を図ること。



視察

デマンド型交通について

埼玉県
北本市

総務建設常任委員会



総務建設常任委員会では1月19日に北本市に「デマンド型交通」について視察研修を行いました。

調査の結果、委員会の意見は次の通りです。

デマンド型交通は、巡回バスに比べて経費が多額となるデメリットがある一方、ドアツードアの移動が可能になるメリットもある。また、小学生の通塾などで利用されるなど潜在的な需要もあり、今後、高齢化も進展し交

通弱者が増加する社会においては、必要性が高くなっていくことが予想される。なお、導入に関しては、

- ① 基礎的調査を行うこと。
- ② 住民アンケートを行うこと。
- ③ 先進事例を研究し、地域の特性をよく考慮すること。

視察

ネウボラについて

埼玉県
和光市

教育厚生常任委員会

ネウボラ(neuvola)はアドバイス(neuvo)の場という意味で、妊娠期から就学前までの子どもの健やかな成長・発達の支援はもちろん、母親、父親、きょうだい、家族全体の心身の健康サポートも目的としています。



教育厚生常任委員会では1月20日に和光市に「ネウボラ」について視察研修を行いました。

調査の結果、委員会の意見は次の通りです。

① 杉戸版ネウボラの調査および研究を行うため、プロジェクトチームを立ち上げること。

② 組織間の連携を図り、ワンストップサービスを提供できる相談窓口を設置すること。

③ 母子共にゆったりと相談できるよう、場所および環境の整備・拡充を行うこと。

④ 母子手帳配布時の状況把握を、さらに充実させること。

埼玉町村議会議長会 講演会

『気象災害と防災について』
熊谷地方気象台長 加藤敏彦氏

1月15日

松伏町中央公民館
(エローラ)



主な内容

大雨や竜巻などを起こす線状降水帯や積乱雲の動きからみる大雨になりやすい気象パターン、竜巻や雷などが発生するメカニズムの説明がありました。特に、一部の地域に長く滞在する大雨や突風は、ピンポイントでの予測は非常に難しく、防災気象情報を活用し、身の安全を確保してほしいとのことでした。

人は、「自分が災害に巻き込まれる」とは考えず、根拠もなく自分は安全だと思い込んでしまいがちです。災害の多い日本では、想像を絶するような激しい自然災害がまれに起こり、常に「自然に対して謙虚な姿勢」でいることが重要です。また、いざという時に適切な判断、行動が取れるよう、あらかじめどのような防災情報があるかを知っておくことも必要であると語りました。

普通救命講習会

平成28年1月28日(木) 杉戸町役場で、議員を対象にした普通救命講習会(下写真)を開催しました。東部消防組合消防員の方にていただき、議員11名がAED(自動体外式除細動器)を用いた心肺蘇生法を習得しました。



もっと 議会を身近に!
第10回 議会報告会

平成28年度一般会計予算を中心に
3月議会の報告を行います。

手話通訳・要約筆記があります。

とき 5月21日(土) 10時～12時

ところ リバティホール杉戸(産業団地地区センター)

表彰

埼玉県町村議会議長会から
自治功労者として表彰

- ・須田恒男議員 (在職 25年以上)
- ・濱田章一議員 (在職 15年以上)

意見書2件、国へ送付

「子ども医療費の国庫負担減額調整措置」、「軽度外傷性脳損傷・脳しんとう関連」

議会最終日、「子ども医療費の無料化と子ども医療費に係る国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書」と「軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの措置を求める意見書」を採択し、国へ送付しました。

特に、「子ども医療費の無料化と子ども医療費に係る国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書」については、全国町村会、全国知事会、全国市長会の地方三団体は、すでに国に対して要望書を提出しています。

○全員賛成で送付

「子ども医療費の無料化と子ども医療費に係る国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書」

我が国は、少子化により国家的な危機に陥るか否かの重大な岐路に立たされているところであり、子育て負担の大胆な軽減など、少子化対策の抜本的強化を図らなければならない状況にある。

一方、子どもの医療費助成は、全ての道府県において、乳幼児医療費無料化を含むさまざまな助成制度を実施しているが、助成対象年齢や自己負担額などに地域間格差が生じている実態にある。また、さらに、地方自治体が行っている乳幼児等に対する医療費助成に

「軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの措置を求める意見書」

脳しんとうは、軽度の外傷性脳損傷であり、頭が衝撃や打撲を受けたり、激しく揺さぶられることによって、あるいは身体への強打によって、頭と脳が前後左右に急速に揺さぶられることによって生じます。主な症状は損傷後、記憶障害、錯乱、眠気、だるさ、めまい等です。

このような中、実際の教育現場や家庭では、対応も後手に回ってしまい、最悪、うつ状態に陥ってしまう人も多いなどが現状です。

そこで、国におかれましては、次の事項について最適な措置を講じるよう、強く要望します。

1 〈教育機関での周知徹底と対策〉

各学校などの教師・保健師・スポーツコーチ及び救急救命士・救急隊員に、PocketSCAT2の携帯を義務付けること。併せて、むち打ち型損傷、若しくは、頭頸部に衝撃を受けたと推測される事故・事案が発生した場合は、本人の訴えだけでなく、症状を客観的に正確に観察

して判断を下すとともに、家庭・家族への報告も義務付け、経過観察を促すこと。

2 〈専門医による診断と適切な検査の実施〉

脳しんとうを疑った場合には、直ちに脳神経外科医の診断を受け、CT/MRIだけではなく、神経学的検査の受診も義務付けるとともにSCAT3（12歳以下の場合）ChildSCAT3を実施し、対応できる医療連携体制の構築を進めること。

3 〈周知・啓発・予防措置の推進と相談窓口の設置〉

脳しんとうについて、各自自治体の医療相談窓口等に対応の出来る職員を配置し、医療機関はもとより、国民、教育機関への啓発・周知・予防をより一層図ること。

4 〈園内・学校内で発生した重大事故の繰り返しの防止〉

保育園・幼稚園及び、学校内で発生した事案が重篤な場合は、直ちに保護者へ連絡するとともに第三者調査機関を設置し迅速に事故調査、及び開示を行うこと。

議会を傍聴して



杉戸在住
寺田竹雄さん

初めて議会審議を傍聴。質疑応答の様子は、丁寧に進められていました。

本日の最終の質問「杉戸宿」開宿四〇〇年について、経過を踏まえ本番をどのように進めていくか審議されていきました。質問への答弁として主担当課だけでなく、関係各課が行い、他の課に働きかけていくことが分かりました。

開宿四〇〇年の年、行政各課が協力、議会も応援し、町民も協力して協働のまちづくり。今後の少子高齢化、人口減少が予想される中、よい流れであると思いました。

町民の一人として議会へ関心を持ち、自身として、協働のまちづくりの一つとなる地元の活動を継続していきたい。

平成28年第1回杉戸町議会定例会 議員別表決結果一覧

議案名	自民クラブ (4人)				日本共産党 (3人)			公明党 (2人)		無所属 (5人)				
	稲葉 章一	都築 光男	勝岡 敏至	阿部 啓子	森山 哲夫	石川 敏子	平川 忠良	伊藤美佐子	宮田 利雄	須田 恒男	窪田 裕之	大橋 芳久	仁部 前崇	坪田 光治
杉戸町災害見舞金等支給条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町行政不服審査条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長及び副町長の給与等に関する条例及び杉戸町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度杉戸町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度杉戸町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度杉戸町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度杉戸町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度杉戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度杉戸町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
副町長の選任について(坂田直人氏)	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(長谷川美代子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町固定資産評価審査委員会委員の選任について(伊坂清氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び杉戸町災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
工事請負契約の変更について(杉戸町統合幼稚園・保育園複合施設建設工事(外構工事))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度杉戸町一般会計予算	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度杉戸町水道事業会計予算	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度杉戸町公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度杉戸町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度杉戸町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度杉戸町介護保険特別会計予算	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町消費生活センターの組織及び運営に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
杉戸町ねたきり老人等手当支給条例を廃止する条例	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
子ども医療費の無料化と子ども医療費に係る国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や子供の相談可能な窓口などの設置を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○印…賛成 ×印…反対 欠印…欠席 除印…除斥 ※議長は表決に参加しないため、「-」となっています。

3月定例会 傍聴者数

(本会議)

2月	16日	0人
	17日	0人
	22日	4人
	23日	9人
	24日	4人
	25日	2人
3月	8日	0人
	16日	0人

(委員会)

2月	29日	予算特別	0人
	1日	予算特別	0人
3月	2日	予算特別	0人
	4日	予算特別	0人
	9日	総務建設	2人
教育厚生		1人	

6月定例会は、**6月2日(木)**開会予定です。

表紙紹介

4月より、すぎと保育園に通っています園児の笑顔です。友達たくさんできるかな。

編集後記

期待に胸を膨らませ、希望に満ち溢れた未来に向けての第一歩となる新年度を迎えて、早くも一か月が経ちました。皆さまいかがお過ごしですか。

町では、4月より新たに、県からの出向職員を副町長、都市施設整備課長として迎え入れ、全力で取り組んでいく体制を整えました。議会としても、新しい風を感じながら行政との両輪の役割を果たすよう邁進してまいります。これからも、読みやすい議会だより編集に努めます。